



# JFSTA NEWS

NO. 09 - 005

2009.6.30

目	次
平成 21 年度協会通常総会開催される・・・ 1	会務報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
新会長、新理事長の紹介・・・・・・・・ 3	事務連絡・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
新たな事務局業務担当者の紹介・・・・・・・・ 3	

## 平成 21 年度協会通常総会開催される

### 事務局

去る 6 月 11 日(木)に三会堂ビル大日本水産会の会議室をお借りして当協会の平成 21 年度通常総会が開催されました。正会員 55 名のうち、出席者は 25 名でしたが、委任状の提出者 22 名を合わせると 47 名となり、開催が成立しました。なお、賛助会員から 4 法人が出席されました。また、来賓として独立行政法人水産総合研究センターの井上理事にお出でいただきました。

欠席された方へは既に総会資料をお送りしていますが、資料ではお伝え出来ない審議の様子をお知らせしておきます。

#### 開会

予定どおり総会は午後 3 時半に始まり、川口会長より「会員は増えつつあるが、正会員 100 名を当面の目標に会員獲得に向けた努力が必要である。また、会員の皆さんには、協会が何をしてくれるかではなく、自ら協会に何ができるかを考え、実行していただきたい」旨の挨拶がありました。次いで、来賓の井上理事に「調査研究機関は多くの課題を抱えているが、支援勢力とし

て協会の発展を期待します」とのご挨拶をいただきました。

#### 議長の選出と議事録署名人の指名

議長に原理事長が選出されました。また、議事録署名人(安永専務理事、嶋津理事)が指名されました。次いで議事次第にしたがって、順次事務局より議案が説明され、審議に移りました。

#### 平成 20 年度事業報告と決算

事業報告では、20 年度は協会の設立初年度に当たることから、業務体制の確立、連絡網の整備等に労力を要したものの、外部機関からの要請に応じた技術者の紹介その他の事業に実績を上げたことが説明され、会員の承認を得ました。

また、決算では、事務局維持・運営等のために約 41 万円の支出超過になっているものの、未だ収入としては当初の基金及び会費しかないためであり、会員から異議はなく承認されました。

#### 監査報告

浅田監事より、事業内容、会計処理は適

正に実施されている旨の報告があり、異議なく承認されました。

## 21 年度事業計画案と予算

事業計画案では、引き続き会員の獲得、技術者の紹介、外部機関との連携・協力などの活動を実行するとともに、調査研究の実施、技術者データベースの作成などを図ることが説明されました。また、会員への資料・情報提供活動の具体例として「クロマグロ種苗生産施設など研究開発機関の視察ツアー」が提案されました。

会員からは「各地方にいる会員の能力を活かすために調査研究をはじめ各種活動へ参加出来るよう図ることが必要ではないか」、「調査研究の実現に向け、国の公募型予算に関して確実に情報を入手することが重要ではないか」などの意見が出されました。また、同じく会員から「昨年度、理事長が中心となって公募型の水産庁調査予算の獲得に向けて企画書を作成し、提出した経緯があり、協会として調査研究の実現に尽力されたことを紹介する」との発言がありました。

これに対して理事長より「協会としても公募型予算の獲得に向けて努力しているが、現実には実績を問われるなど困難な面もある。調査研究の実現に向けて会員からも公募型調査研究への参入のための有力情報の提供を募りたい」との説明がありました。また、会員から「協会の機能の一環として、例えば企業、団体が公募型の国の調査研究制度に応募する際に難しいとされる企画書や調査計画案の作成、プレゼンテーションについて指導・助言することを考えていただけないか」との要望も出されました。これらの質疑を経て事業計画は承認さ

れましたが、事業内容への関心の高さが示されました。

予算案に関しては「昨年度収支計算書にあった支出超過額が示されていないがなぜか」との質問が出されました。この点について事務局より「昨年度支出超過は、今年度の調査研究の実施に伴う予算収入によって解消される見通しにある。会計規則に照らして、新年度予算案には組み込まないことでよいと判断した」との説明があり、予算案は承認されました。

## 定款の改正

理事会の決議において書面または電磁的記録による同意の意思表示を可能とする条項（理事会決議の省略）の盛り込みを主とする協会定款の改正案が提出されました。

また、会員より「昨年の臨時総会で提案した文章の修正は概ね実施されているが、未だ文章表現、用語上の要修正箇所が残されている」との指摘がありました。指摘の点は次回総会までに適宜修正することを付帯事項として改正案は承認されました。

## 役員を選任

協会定款で、最初の役員の任期は今回の総会終結までとされていることから、次期2年の役員候補者案（初年度理事の全員再任と監事1名の再任）が提案され、承認されました。

## 閉会（と懇親会）

以上の予定議題の審議、議決を経て、ほぼ予定どおり午後5時過ぎに総会は終わりました。なお、出席者のほとんどの方が会場近くの中華料理店で開かれました懇親会場に移られ、2時間と限られた時間内ではありましたが、酒類飲み放題で賑やかに過ごされ、親交を深められました。

## 新会長、新理事長の紹介

### 事務局

平成 21 年度総会で次期理事、監事が選出されたことを受け、定款にもとづいて新規 3 役を互選するための理事会が開かれました。その結果、新会長には川口前会長、新

理事長には原前理事長が引き続いて就任することが承認されました。なお、諸事情により、当分の間、専務理事、及び 2 名の監事のうちの 1 名が空席になりました

---

## 新たな事務局業務担当者の紹介

### 事務局

事務局業務体制の強化のため、総会後から下記の理事、会員、計 4 名の方々に事務局業務を担当して頂くこととなりました。お忙しい方々ですので、勤務日、担当業務

につきましては調整して定めることとしています。また、下記の方々以外の方にもお願いすることを予定しています。

嶋津 靖彦	理事
西岡 不二男	理事
中添 純一	理事
中野 広	会員

---

## 会 務 報 告

平成 21 年 6 月 11 日

通常総会開催

於：大日本水産会会議室

会員(平成 21 年 6 月 30 日現在)

正会員 55 名 賛助会員 14 法人

## 事 務 連 絡

### 1 会費納入のお願い

通常総会及び送付便で会費納入のお願いをしましたが、まだ納入されてない方は下記への納入方よろしくお願ひします。

#### 銀行口座

みずほ銀行 上大岡支店

普通 2 9 5 8 8 3 5

名義：一般社団法人全国水産技術者協会

#### 郵便局口座

振替口座：0 0 1 9 0 - 5 - 5 4 6 2 0 2

名義：一般社団法人全国水産技術者協会

一般社団法人 **全国水産技術者協会**  
〒107-0052  
東京都港区赤坂一丁目9番13号  
三会堂ビルB 1  
03-6459-1911 FAX 03-6459-1912  
E-mail zensuigikyo@jfsta.or.jp  
URL <http://www.jfsta.or.jp>